

Rotary

2019-20 年度国際ロータリーのテーマ

ロータリーは
世界をつなぐ

2019-20 年度国際ロータリー会長
マーク・ダニエル・マローニー
RI 2630 地区 岐阜東濃グループ



題字：吉川義康

例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ソング「我らの生業」
3. ゲスト・ビジターの紹介
4. 食事と交歓
5. 会長の時間
6. 雑誌の紹介 情報研修委員会
7. 出席報告 例会運営委員会
8. ニコボックス発表 親睦委員会
9. 委員会報告、幹事報告 地区委員
10. 卓話 波多野一夫君
11. 閉会点鐘

卓話



パスト会長
ロータリー財団補助金小委員会委員

波多野 一夫君

演題
「地区からの贈り物」

ロータリー歴

- 1992年1月 中津川 RC 入会
- 2004～05年 中津川 RC 幹事
- 2011～12年 中津川 RC 国際交流委員長
- 2011～13年 地区 R 財団補助金委員
- 2013～14年 地区 R 財団補助金小委員会副委員長
- 2014～15年 中津川 RC 副会長
米山奨学生カウンセラー
- 2016～17年 中津川 RC 会長
- 2018～現在 地区 R 財団補助金小委員会委員
マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

会長の時間

2019-2020年
第62期 中津川ロータリークラブ

会長 **吉川 義康**

『英仏海峡トンネルを視察して』



1988年6月8日から26日まで、(社)日本トンネル技術協会主催のトンネル技術調査団64名に加わり、スペインのマドリッドで開催された国際トンネル協会国際会議に出席した際に、工事中の英仏海峡トンネル(ユーロトンネル)を視察しました。

最初にイギリスのフォークストンを訪れました。ここでは、高速鉄道と既存の鉄道と接続させ、移動する車が列車に乗り降りするカートレインの基地としてのターミナルの造成工事が行われていました。

フォークストン市内の「ユーロトンネル・トンタイン・ハウス」という展示場に行き、ビデオ、スライドで工事の説明を聞きました。

翌日、高速のオーバークラフトで英仏海峡を渡り、対岸のフランスのカレー港に着きました。カレー港近くのサンガッテ立坑基地でも、ユーロトンネル建設中の説明を受けました。

ユーロトンネルは、イギリスとフランス間 50.4 km

の英仏海峡トンネルであり、直径 7.6 m の鉄道トンネルを並行しながら 2 本建設されました。

主に TBM (トンネル・ボーリング・マシン) 工法で設計されましたが、シールド工法に転用可能な TBM としても造られました。合計 11 機 (イギリス製 6 機、日本製 4 機、アメリカ製 1 機) が造られました。フランス側からのトンネル掘削に参加した川崎重工業(株)製の TBM がかなり難工事をこなしたということで、NHK の「プロジェクト X」にも取り上げられました。



地層はチョーク層といって粘土が主体のため、シールド機械に粘土が付着したり、掘削排土装置などにトラブルが多発しました。

その後、ユーロトンネルは、1994年5月6日に完成し、11月14日に供用開始されました。今日までの25年間、問題無く使用されていますが、イギリスがEUから脱退することにより、ユーロトンネルがどのような扱われ方をするのか気になるところです。